



宜野湾 柔道団体V 山城 オール一本勝ち

決勝 宜野湾市一那
覇市 大内刈りで一
本勝ちした宜野湾市
の副将・山城太志＝
那覇西高校柔道場
(又吉宏宜撮影)



柔道

(那覇西高校柔道場)

▽1回戦 うるま市5-0南城市、八重山郡3-0沖縄市、島尻郡5-0国頭郡、中頭郡3-1名護市、浦添市2-1名古屋市

▽準々決勝

那覇市 3-0 うるま市
八重山郡 3-2 島尻郡
宜野湾市 4-0 中頭郡
糸満市 3-2 浦添市

▽準決勝

那覇市 3-2 八重山郡
宜野湾市 3-1 糸満市

▽3位決定戦

八重山郡 2-1 糸満市

▽決勝

宜野湾市 2-1 那覇市
伊波 引き分け 知念

○比嘉 小内刈り 泰川
中村 腕ひしぎ十字固め 浦崎○

○山城 大内刈り 金城
崎原 引き分け 漢那

宜野湾市が昨年準決勝で敗れた那覇市に2-1で雪辱を果たし、15年ぶりに団体戦優勝を飾った。

次鋒の比嘉俊磨が九州学生4連覇の実力を示した。残り10秒、相手が引き分け狙いで引いたところを小内刈りで一本勝ち。「最後にうまくいった良かった。自分の仕事はできたかな」と笑顔を見せた。

1-1の副将戦で山城太志は「県警の後輩には負けられない」と、大内刈りで鮮やか

な一本勝ちを決めた。「きょうは100点。自分で決めるつもりだった」。駆け付けた子どもたちの応援も力となり、全試合で一本勝ちだった。

メンバー全員が宜野湾署スポーツ少年団出身。今年から監督となった玉寄盛道さんは、教え子たちの活躍に目を細めた。「代わってすぐに優勝できてありがたい。来年は2連覇できるようにしたい」と語った。

(又吉宏宜)



15年ぶりに優勝した宜野湾市

県民スポーツ大会

県民スポーツ大会は22日、採点競技9競技が県内各地で行われた。柔道は宜野湾市が優勝し、相撲は沖縄市が頂点に立った。相撲の個人一般の部は木崎誠仁（沖縄市）が、同青年の部は仲里智隆（浦添市）がともに初優勝を飾った。陸上は第1日があり、男子100mの平良光真真（うるま市）が10秒

39の大会新記録で優勝した。女子40代100mは新崎千春（南城市）が年代別県新記録の13秒09で優勝し、男子30代走り幅跳びでは小森翔（沖縄市）が17m11の年代別県新記録をマークして優勝した。16日までに行われたサッカーは男女ともに各勝者が制し、テニスは那覇市が栄冠に輝いた。
(一部記録は後日掲載)

宜野湾市 柔道制す

相撲は沖縄市頂点

柔道

22日・那覇西高校体育館
▽1回戦 うるま市5-0南城市
八重山部3-0沖縄市 島尻部
▽準々決勝
那覇市3-0うるま市
八重山部3-2島尻部
宜野湾市3-1糸満市
▽準決勝
那覇市3-2八重山部
宜野湾市3-1糸満市
▽3位決定戦
八重山部2-1糸満市
▽決勝
宜野湾市2-1那覇市

山城、オール一本勝ちで貢献

ハイライト

左足をかけ、完璧に投げた。相手を畳に倒した瞬間。



間、雄たけびをあげた山城太志（県警）は「優勝旗を持って帰れて良かった」と満足そうに話した。宜野湾市は出場した全員

が、宜野湾スポーツ少年団柔道部育ち。抜群のチームワークで15年ぶりの優勝を手にした。玉寄盛道監督は「初めての監督で、教える

たちからご褒美をもらえた気分。とてもありがたい」と喜んだ。那覇市との決勝戦。先鋒は引き分け、次鋒の比嘉俊

星をとった。「相手が巴投げをうってくるのを狙っていた。大内刈りを合わせてきれいに決まった」と振り返る。

続く中堅は落とし、イーブンに持ち込まれる。副将の山城は「自分が決めてやる」と気合を込めて臨んだ。けがの影響もあり、10月に練習に復帰したばかり。相手も同じ機動隊で普段から稽古で汗をながしている分、互いに手の内は知っている。それでも一瞬の隙を突いて、得意とする大内刈りで勝負を決めた。今大会は3戦3勝。オール一本勝ちで優勝に大きく貢献した山城は「頑張っている（宜野湾の）後輩のためにも頑張っていた。勝てて良かった」と笑顔で語った。
(佐野真哉)



優勝した宜野湾市代表。前列左から、山城太志、木崎誠仁、仲里智隆、大内刈り。後列左から、玉寄盛道監督、山城太志、木崎誠仁、仲里智隆、大内刈り。

女子40代100m 平良光真真（うるま市）が10秒39の大会新記録で優勝した。女子40代100mは新崎千春（南城市）が年代別県新記録の13秒09で優勝し、男子30代走り幅跳びでは小森翔（沖縄市）が17m11の年代別県新記録をマークして優勝した。16日までに行われたサッカーは男女ともに各勝者が制し、テニスは那覇市が栄冠に輝いた。
(一部記録は後日掲載)